

< 広報の学校 >

「ウェブ・SNS 炎上対策」講座のご案内

～炎上の未然防止から発生時危機対応まで～

①会場聴講（推奨）、または②オンライン ZOOM 配信（アーカイブ視聴付き）

から選択できます

— 6月19日（木）13:00～17:30 —

広報の学校
(共同ピーアール総合研究所)

SNS が必要不可欠な情報インフラとして定着し、個人は誰でも情報の発信・受信・拡散の主人公になりうるという「誰でもメディア時代」が到来して久しくなりました。

SNS は上手く使いこなせば高い利便性を享受できる一方、企業にとって SNS 絡みのリスク管理は、炎上、デマ（フェイクニュース）、ネット告発、デジタルタトゥーなど、自身の評判（レピュテーション）を含め株価や業績にも多大な影響を与えかねない最重要課題のひとつとなっていることも事実です。

しかも、SNS リスクは、不適切な情報発信（バイトテロ等）のみならず、広告表現（ジェンダー差別）、誹謗中傷、さらには炎上時の対応ミスによる2次炎上など、その発生要因、テーマ、パターンが次第に複雑・多様化しつつあり、対応を誤った際のダメージも大きいだけにミスが許されない危機管理領域となっています。

本講座は、こうした最新の情勢を踏まえて、危機管理・炎上リスク対応の経験豊富なスペシャリスト2人が講師となり、炎上の定義、パターン、炎上に関わる人的特徴、テーマ、背景、発生要因、拡大プロセスといった炎上に纏わる基礎知識と、炎上時の対応ミスによる2次炎上阻止や未然防止、発生時の炎上危機対策のポイントを実践的かつ具体的に解説します。

広報・危機管理担当者の実務教育の一環としてお役立て下さいますよう、ご参加をお待ち申し上げます。

※当総研では、受講効果を高める視点から「会場受講」を推奨しておりますが、会場受講が難しい方は配信での受講も可能です。「オンライン配信」でのご参加を選択された場合、当日の配信に加え、アーカイブ視聴期間中（1ヶ月）何度でも繰り返し視聴ができます。

— 実 施 概 要 —

- 対象者 広報/IR、お客様相談室、総務、危機管理、企業ウェブサイト管理者（責任者・担当者）
- 本講座の特色
 - ①経験が浅い担当者でも分かりやすい実践的な知識・スキルの習得
 - ②具体的かつ豊富なケーススタディを活用
 - ③実務に特化した内容
 - ④すぐに現場で応用可能な実践力が習得可能
- 講座概要 詳細はカリキュラムをご覧ください

■日 時 2025年6月19日(木) 13:00~17:30

■会 場 共同ピーアール セミナールーム
(東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10階)
オンラインでご参加の場合は、講座の2日前までに ZOOM URL をお知らせいたします。

■講 師 射場本 健彦(共同ピーアール総合研究所 主任研究員)
中根 優作(共同ピーアール総合研究所 主任研究員)

■受 講 料 45,000円(資料代含む) 消費税別

■申込方法: ウェブサイトページからお手続きください。

⇒ インターネット検索サイトで「共同ピーアール セミナー」と検索し、申込フォームにお進み下さい。その際、①会場聴講、または②オンライン配信のどちらかを選択し明記願います。

アドレス: <https://www.kyodo-pr.co.jp/seminar>

※お申込み受け後に自動返信メールにてお申込確認情報が届きます。
※催行人数に満たない場合には、中止になることもございます。

■申込締切 6月12日(木) 17時必着

■支払方法 請求書はPDFでお送りいたします。記載のお支払い期限(当月締め翌月末払い)までにお振込みください。

※請求書の原本をご希望の場合は郵送いたしますので、その旨お知らせください。

◀振込先▶ みずほ銀行(0001) 八重洲口支店(026)

普通預金 口座番号: 2677982

口座名: 共同^{キョウドウ}ピーアール株式会社 セミナー^{グチ}口

●参加方法は2つあります

①「会場聴講」の方: 講座開始10分前にセミナールームで受付をお済ませください。

②「オンライン配信」の方: 当日会場に来られずとも、遠隔で講座を聴講できます。

ZOOMに登録いただきご参加ください。

当日見逃した方は後日、アーカイブ視聴期間(1ヶ月)中であれば視聴可能です。

繰り返し受講されたい方もご活用ください。アーカイブ視聴期間は別途ご連絡いたします。

<お問い合わせ先> メールでご連絡ください。担当が一両日中にはご返信をいたします。

「広報の学校」事務局 seminar@kyodo-pr.co.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F

「ウェブ・SNS 炎上対策」講座 カリキュラム

| | 内 容 | 講 師 |
|-----------------------|--|--------|
| Part 1 13:00～14:00 | 炎上事例研究 ・某外食チェーン企業で立て続けに炎上発生 それは飲食業界に限らず、あらゆる業種で起きうる炎上だった…… ・何が起きたか ・そのとき、公式アカウントは何していたか ・その要因は | 中根 優作 |
| 14:00～14:10 | 休 憩 | |
| Part 2 14:10～15:10 | 近年のSNS炎上トレンド ・ジェンダー問題と炎上 ・変わる炎上参加者 ・【参考】蘇ったバイトテロ ・陰謀論の台頭 | 射場本 健彦 |
| 15:10～15:20 | 休 憩 | |
| Part 3 15:20～16:20 | 炎上の基礎知識 炎上の定義／背景／炎上の影響力／炎上に関与する人のイメージと実際のギャップ)／炎上のパターン／炎上による企業ダメージ／二次炎上／メディアと炎上の関係 フェイクニュース フェイクニュースの定義／事例／背景／フェイクニュースのパターン／関与者／影響／対策／見破る方法 | 射場本 健彦 |
| 16:20～16:30 | 休 憩 | |
| Part 4 16:30～17:30 | 演習（炎上時の広報対応） 炎上対応 拡大プロセス／未然防止／初期対応／監視体制／炎上時対策／二次炎上防止／スルーの条件／放置リスク／電凸対応 | |

【講師プロフィール】

●射場本 健彦（いばもと たけひこ）

共同ピーアール総合研究所 主任研究員



慶應義塾大学 総合政策学部卒

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科修了

大学院修了後、富士通にて農業生産・経営研究、ASEAN 港湾インフラ開発、2020 年東京五輪関連事業に従事。2015 年、SNS 発信・メディアコミュニケーションを専門とする株式会社ジャパンコネクションを設立した。

最近では、ネットメディアの専門家として、国政選挙をはじめとした大型選挙運営にも携わり、政治・政策分野でのネット世論及び AI の活用可能性等に関する研究にも注力している。

2019 年 12 月、当総研主任研究員に就任。

【実績および兼務中の役職】

2004 年-2009 年 岡崎研究所 岡崎久彦所長 情報セキュリティ担当秘書

2006 年 未踏ソフトウェア創造事業採択（共同開発者 UX デザイン／開発担当）

2009 年-2015 年 富士通株式会社（農業・UX・カメラ研究／ASEAN 開発／五輪関係政策涉外）

2013 年 CEATEC 総務大臣賞（富士通 農業生産システム開発）

2018 年（特非）公共政策調査機構 運営委員・チーフ インフォメーション オフィサー（現任）

●中根 優作（なかね ゆうさく）

共同ピーアール総合研究所 主任研究員



テレビ局にて番組ディレクター等を担当した後、テレビCMの制作現場を経て、

（財）2005 年日本国際博覧会協会 広報・報道室に勤務。愛・地球博（愛知万博）では広報業務に従事し、全国放送の特番、行幸啓の取材対応などを経験。現在は、危機管理広報コンサルティング、危機管理広報マニュアル作成や、メディアトレーニングのトレーナーなどを務めるほか、SNS炎上対応や大学にて学生向けの炎上防止セミナー等の講師も担当している。2020年からの「コロナ禍」においては、映像制作の経験を活かし、数多くの記者会見のオンライン配信を手掛けている。